

漁業・水産業のビジネスサポーター

 ニチモウ株式会社

2024年3月期  
第2四半期決算短信  
補足説明資料

2023年11月10日

8091

プライム市場



 ニチモウ株式会社

# 2024年3月期第2四半期決算

# 2024年3月期2Q決算：売上微増、営業減益で進捗遅れはあるが概ね期初計画通り

売上高：61,332百万円（+0.4%）

営業利益：1,245百万円（△15.3%）

海洋事業の漁具・養殖関連販売が好調、機械事業も中小型案件獲得、食品事業の販売苦戦などをカバーし、微増収

海洋事業・機械事業は増益も、食品事業の在庫評価損、資材事業の価格転嫁遅れ、物流事業の収益悪化により減益

(単位：百万円)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)	2024年 3月期2Q	構成比 (%)	前年同期比 (%)	期初計画に 対する進捗率(%)
売上高	61,110	100.0	<b>61,332</b>	100.0	+0.4	<b>46.8%</b>
売上総利益	5,626	9.2	<b>5,517</b>	9.0	△1.9	—
販売費及び 一般管理費	4,154	6.8	<b>4,272</b>	7.0	+2.8	—
営業利益	1,471	2.4	<b>1,245</b>	2.0	△15.3	<b>40.2%</b>
経常利益	1,619	2.7	<b>1,438</b>	2.3	△11.2	<b>41.1%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,103	1.8	<b>1,106</b>	1.8	+0.3	<b>44.2%</b>



# 事業別動向：海洋は漁具・養殖関連の販売が好調、機械も省人化設備需要が堅調

食品は主力商材の相場下落により減収減益、物流事業もコスト増などで2Q段階では減益

(単位：百万円)		2023年3月期2Q	構成比 (%)	2024年3月期2Q	構成比 (%)	増減
全体	売上高	61,110	100.0	61,332	100.0	+222
	営業利益	1,471	—	1,245	—	△225
食品	売上高	39,923	65.3	38,377	62.6	△1,545
	営業利益	1,091	51.0	740	36.2	△350
海洋	売上高	9,891	16.2	11,137	18.2	+1,245
	営業利益	347	16.2	551	27.0	+204
機械	売上高	5,428	8.9	6,072	9.9	+644
	営業利益	414	19.4	558	27.3	+143
資材	売上高	4,412	7.2	4,262	6.9	△149
	営業利益	241	11.2	179	8.8	△61
バイオティックス	売上高	155	0.3	139	0.2	△16
	営業利益	4	0.2	0	0.0	△4
物流	売上高	1,245	2.0	1,288	2.1	+43
	営業利益	△34	—	△92	—	△58
その他*	売上高	54	0.1	54	0.1	0
	営業利益	42	2.0	13	0.7	△28
全社費用		△635	—	△705	—	△70

\*その他は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。

# 主力事業の状況① 食品事業・海洋事業

**食品： 減収減益 すり身原料相場の断続的な下落で在庫評価損を計上**

(単位：百万円)	2023年3月期2Q	利益率 (%)	2024年3月期2Q	利益率 (%)	増減
売上高	39,923	—	38,377	—	△ 1,545
営業利益	1,091	2.7%	740	1.9%	△ 350

- < 鮮凍水産物 > (41.6%) カニは物価上昇高騰を受け通販向け販売が低調に推移したものの、業務筋に向けた販売が回復し、減収増益  
 助子は土産向け販売が堅調に推移したものの原料価格の高騰で、増収減益  
 北方凍魚は為替変動の影響などで相場が弱含みで推移し、原料・加工品の販売が振るわず、減収減益
- < 加工食品 > (35.4%) 養殖銀ザケの販売が好調に推移したことやツナやサケ・マス加工品において、原料価格高騰に対する製品価格転嫁が進んだ結果、増収増益
- < すり身 > (23.0%) 原料相場の断続的な下落により販売が低調に推移したことで、減収減益

**海洋： 増収増益 養殖関連は継続して順調、各種漁具資材販売も好調に推移**

(単位：百万円)	2023年3月期2Q	利益率 (%)	2024年3月期2Q	利益率 (%)	増減
売上高	9,891	—	11,137	—	+1,245
営業利益	347	3.5%	551	5.0%	+204

- < 養殖部門 > (52.3%) 養殖用の資材・餌料の販売やサケ科魚類を中心に種苗の販売が順調に推移し、増収増益
- < 漁網・漁具資材部門 > (42.0%) イワシ等の魚種が豊漁であり、近海まき網用の漁具資材などの製造・販売が好調  
 官公庁向けや海外まき網用、底曳き用の各種漁具資材の販売も好調に推移し、増収増益
- < 船舶・機械部門 > (5.7%) 船舶用機器類ならびに船用品の販売が順調に推移し、増収増益

## 主力事業の状況② 機械事業・資材事業

**機械： 増収増益 国内外ともに省人化を目的とした生産設備需要が増加**

(単位：百万円)	2023年3月期2Q	利益率 (%)	2024年3月期2Q	利益率 (%)	増減
売上高	5,428	-	6,072	-	+644
営業利益	414	7.6%	558	9.2%	+143

- <国内> (81.4%) 人流の再開に伴い、人手不足対応による省人化に向けた動きとして、冷凍食品・豆腐業界で機器類の増設や更新により、増収増益
- <海外> (18.6%) 省人化を目的とした豆腐・総菜など各種生産設備需要が増加し、円安による輸出面でのメリットもあり、増収増益

**資材： 減収減益 原料価格高騰による価格転嫁が進まず利益が停滞**

(単位：百万円)	2023年3月期2Q	利益率 (%)	2024年3月期2Q	利益率 (%)	増減
売上高	4,412	-	4,262	-	△149
営業利益	241	5.5%	179	4.2%	△61

- <化成品> (94.4%) マンション需要は底堅く推移しているが原料価格の高騰が続くなか、製品価格転嫁が進まず、減収減益  
包装資材はコスト上昇の影響を受けたものの食品関連資材拡販に努めた結果、減収営業利益は前年同期並み
- <農畜資材> (5.6%) 農業用資材・肥料の拡販に努めたものの、原料高騰の影響を受け、減収減益

# 貸借対照表（要約）

- ・ 年末商戦に向けて水産物在庫の確保により商品及び製品が大幅増加
- ・ 第1回新株予約権行使完了（2023年6月末）、利益計上により純資産が増加

	資産の部			負債・純資産の部			
	(単位：百万円)	2024年3月期2Q		前期末比増減	(単位：百万円)	2024年3月期2Q	前期末比増減
<b>流動資産</b>		<b>67,601</b>	<b>+12,449</b>	<b>流動負債</b>		<b>52,201</b>	<b>+14,245</b>
現金及び預金		9,106	+1,492	支払手形・買掛金		15,048	+2,465
受取手形・売掛金		18,580	+1,418	短期債務		34,065	+12,428
商品及び製品		32,177	+7,538	契約負債		1,256	△614
<b>固定資産</b>		<b>25,221</b>	<b>+1,848</b>	<b>固定負債</b>		<b>13,707</b>	<b>△2,887</b>
有形固定資産		9,910	+24	<b>純資産</b>		<b>27,023</b>	<b>+2,928</b>
無形固定資産		796	+24	株主資本		22,441	+1,516
投資その他の資産		14,514	+1,799	その他包括利益計		4,566	+1,411
<b>資産合計</b>		<b>92,933</b>	<b>+14,285</b>	<b>負債・純資産合計</b>		<b>92,933</b>	<b>+14,285</b>

# キャッシュ・フロー計算書

- ・ 事業特性上、年末商戦に向けた在庫の積み増しにより営業CFはマイナスだが、3Qから回収へ
- ・ 第1回新株予約権発行で得た資金で水産物加工設備・システム費用等に投資

(単位：百万円)	2022/4-2022/9	2023/4-2023/9	増減	主な要因
現金及び 現金同等物の期首残高	5,571	<b>6,939</b>	+1,368	
営業活動によるキャッシュフロー	△8,959	<b>△7,399</b>	+1,560	売上債権の増加△ 1,295 棚卸資産の増加△ 9,326 仕入債務の増加 + 2,418
投資活動によるキャッシュフロー	△613	<b>△564</b>	+48	有形・無形固定資産への投資△ 666
フリーキャッシュフロー	△9,572	<b>△7,963</b>	+1,608	
財務活動によるキャッシュフロー	11,595	<b>9,476</b>	△2,119	短期借入金の調達 + 9,841 長期借入金の調達 + 250
現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,711	<b>8,523</b>	+811	



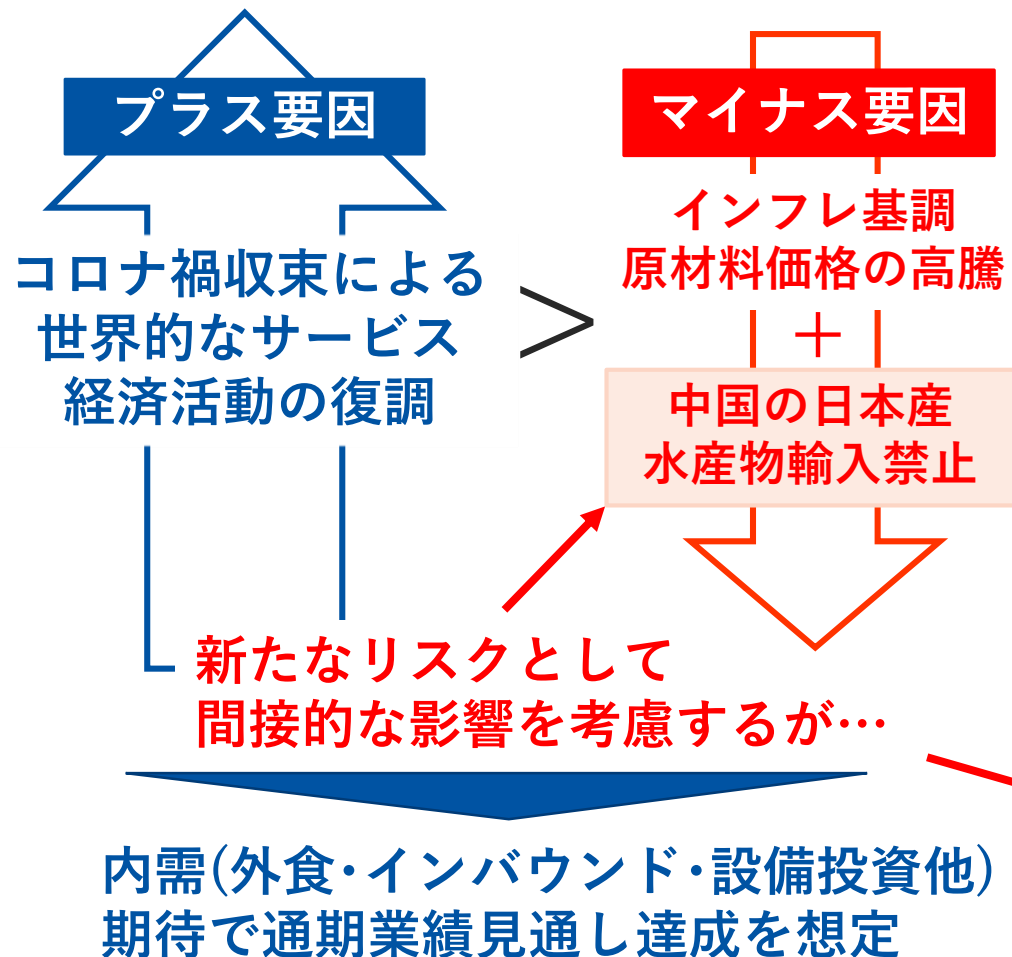
 ニチモウ株式会社

# 2024年3月期業績見通し

# 事業環境の変化：中国禁輸措置の影響懸念は残るがコロナ禍収束による復調を期待

下期は、期初に比べてやや見方を厳格化するが、通期でプラス要因が業績に貢献する見込み

## 期初想定的前提条件を見直し



期待できる要素	事業セグメント			
	食品	海洋	機械	資材
消費行動活発化	◎	◎	◎	◎
外食・インバウンド 需要回復	◎	◎		
人手不足で 設備投資活発化	◎		◎	◎
海外販売の拡大		◎	◎	
新たなリスク				
中国の日本産水産物 輸入禁止	△	△		

# 2024年3月期見通し：期初見通しに変更なし：売上高1,310億円、営業利益31億円

売上高は過去最高更新(前期比+3.3%)、営業利益は+7.9%増、営業利益率は2.4%へ

下期は、外部環境につき懸念材料はあるものの、年末年始へ向けて需要回復を見込む

売上高：①外食・インバウンド需要回復により食品事業を中心に主要事業で増収を想定  
②海洋・機械事業は上期同様に拡販により増収を想定

営業利益：①食品事業：上期減益を年末商戦に主力商材の販売攻勢で挽回して業績改善へ  
②海洋事業：漁網漁具・養殖関連の販売好調維持で増益継続  
③機械事業：中小型案件獲得の積み上げにより増益継続  
④物流事業：下期はコスト抑制で業績改善に取り組む

(単位：百万円)	2023年3月期	構成比 (%)	2024年3月期	構成比 (%)	前期比 (%)	2024年3月期 上期実績	進捗率
売上高	126,829	100.0	131,000	100.0	+ 3.3	61,332	46.8%
営業利益	2,874	2.3	3,100	2.4	+ 7.9	1,245	40.2%
経常利益	3,220	2.5	3,500	2.7	+ 8.7	1,438	41.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,437	1.9	2,500	1.9	+ 2.6	1,106	44.2%

# 2024年3月期見通し（事業別）：期初見通しから大きな変化はなし

海洋・機械事業が上期同様に業績を牽引、食品事業は下期の収益改善で、全体では増収増益を想定

(単位：百万円)		2023年3月期 実績	構成比 (%)	2024年 3月期見通し	構成比 (%)	増減	(ご参考) 2024年3月期 上期実績
全体	売上高	126,829	100	131,000	100	+4,170	61,332
	営業利益	2,874	—	3,100	—	+225	1,245
食品	売上高	82,907	65.4	85,000	64.9	+2,092	38,377
	営業利益	2,170	51.4	2,300	51.1	+129	740
海洋	売上高	20,978	16.5	21,500	16.4	+513	11,137
	営業利益	617	14.5	500	11.1	△120	551
機械	売上高	11,244	8.9	12,500	9.5	+1,255	6,072
	営業利益	945	22.4	1,050	23.4	+104	558
資材	売上高	8,790	6.9	9,000	6.9	+209	4,262
	営業利益	437	10.4	500	11.1	+62	179
バイオティックス	売上高	312	0.2	350	0.3	+37	139
	営業利益	13	0.3	50	1.1	+36	0
物流	売上高	2,489	2.0	2,550	1.9	+60	1,288
	営業利益	△46	—	20	0.4	+66	△92
その他*	売上高	107	0.1	100	0.1	+0	54
全社費用		△1,351	—	△1,400	—	△48	△705

\*その他は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。





ニチモウ株式会社

# 資本政策・株主還元策



# 設備投資計画の進捗：中期経営計画の目的に従い着実に投資を実施中

## 中期経営計画投資枠合計100億円

- ①陸上養殖の事業化  
（新規事業）：30億円
- ②バイオマス漁網の実用化  
（研究開発）：10億円
- ③水産物加工の  
安定供給体制を構築  
（設備投資）：30億円
- ④M & A 資金  
（既存事業強化）：20億円
- ⑤その他  
（システム費用）：10億円

## 2024年3月期 2Q時点投資額

- ①陸上養殖事業化 4.5億円（前期末比±0）  
⇒Phase 2(年間生産量300t→3,000t) 移行検討へ
- ②バイオマス漁網実用化 1.2億円（前期末比+0.2億円）  
⇒生分解性の海洋資材・廃棄漁網リサイクルの研究開発他
- ③水産物加工の安定供給体制 15.5億円（前期末比+0.9億円）  
⇒ヤマイチ水産新食品工場の冷凍設備増設
- ⑤その他（システム費用） 3.8億円（前期末比+1.2億円）  
⇒インボイス・電帳法に対応したシステムを改修

調達額 19.4億円  
(2023年6月行使完了)

新株予約権発行（2022年8月）

当初調達金額 約18.6億円

①陸上養殖建設資金 15億円

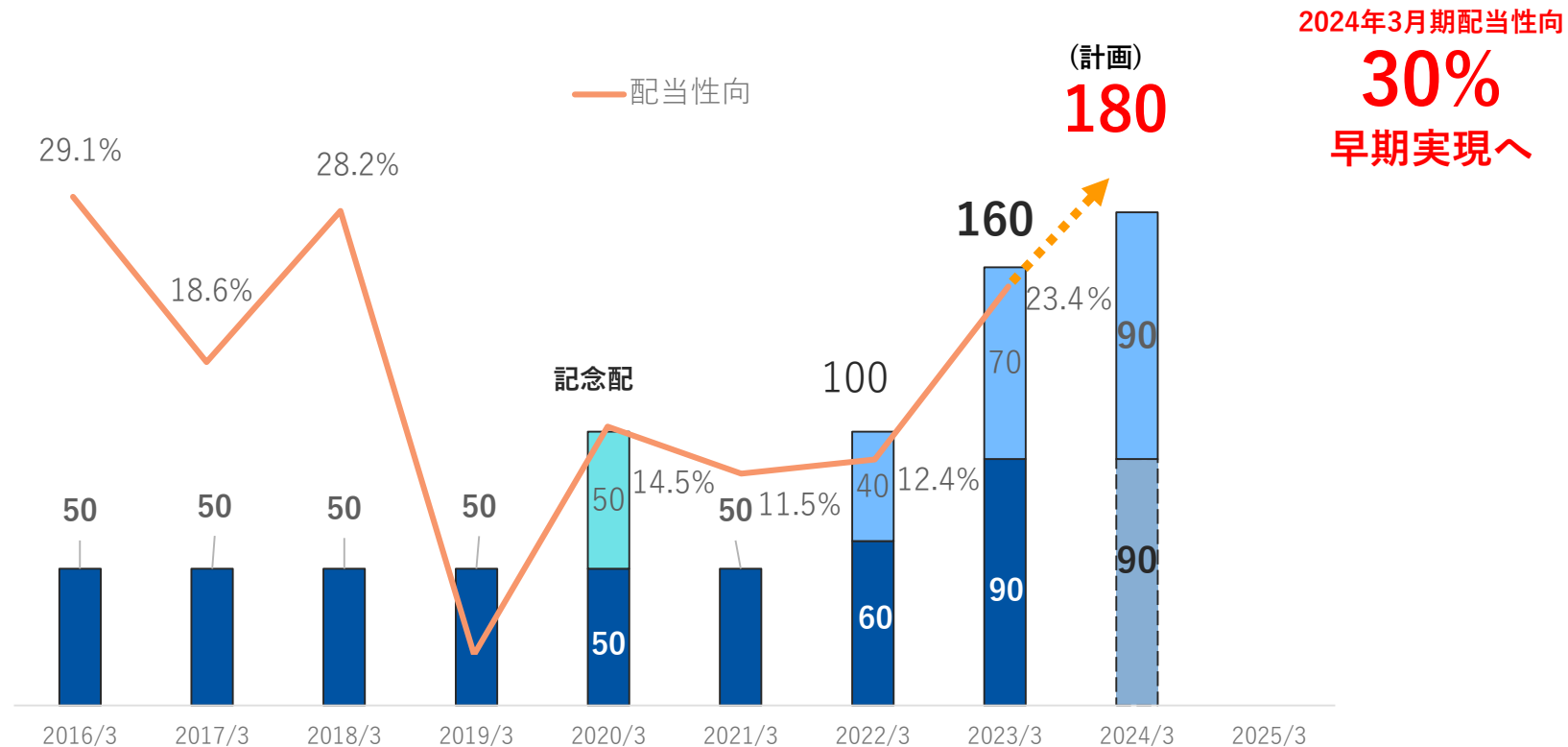
②バイオマス漁網実用化研究開発資金 3.6億円

- 計画の進捗に遅れが生じているが、①陸上養殖の事業化、②バイオマス漁網の実用化、③水産加工設備の増設、⑤システム開発については積極的な投資を継続
- ④M&Aについても引き続き慎重に検討

# 配当金：2024年3月期中間配当は期初予想どおり90円で確定、期末配当も90円へ

1株当たり年間配当180円(中間90円+期末90円)、前期実績(160円)比+20円の期初方針は変わらず

- ・ 中間配当は当初の配当予想通り1株当たり90円で確定
- ・ 中計目標配当性向 30%を早期実現すべく、従来通り期末配当は1株当たり90円(年間180円)を予定
- ・ 配当性向30%達成後も持続的な成長に合わせて「累進配当政策」を維持！



\* 2017年3月期以前は併合前の数字を調整 ■ 期末配当 ■ 中間配当 ■ 配当予想 (単位：円)

2023年11月20日に「2024年3月期第2四半期決算説明会」を  
動画配信いたしますのでぜひご視聴ください。

[https://www.nichimo.co.jp/ir/library/brief\\_note/](https://www.nichimo.co.jp/ir/library/brief_note/)

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、  
現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、  
今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。  
また、本資料の著作権を含む一切の権利はニチモウ株式会社に帰属します。

### IRに関するお問い合わせ

ニチモウ株式会社 総務部IR担当

E-mail：ir@nichimo.co.jp

TEL：03-3458-3020

2023年11月10日